

# 平成28年度 学校評価中間報告会



石川県立金沢錦丘高等学校

# 学校経営計画より

## <教育目標>

高い志を育み、豊かな心と知性、健やかな身体を培い、地域や国家、国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。

## <今年度の重点目標>

1. 中高一貫教育の特長を生かし、**高い進路目標**に向かって邁進する生徒を育て、その実現を図る。
2. **教科指導の質的向上**に努めるとともに、あらゆる教育活動を通して生徒の**論理的思考力**や**表現力の伸長**を図る。
3. 学習、進路、生活、部活動等を有機的に結びつけ、より**自立的内発的**に取り組むことのできる、実践力のある生徒を育成する。

## 重点目標1に対する取組

高い進路目標

CU(土曜補習)、補習等を通して、より意欲的な学習のあり方へと切り替えさせる。

○「CUや補習は自分の学力向上に役立っている」と思う生徒の割合が

A 80%以上である

B 70%以上である

C 60%以上である

D 60%未満である

**「役立っている」 70%**

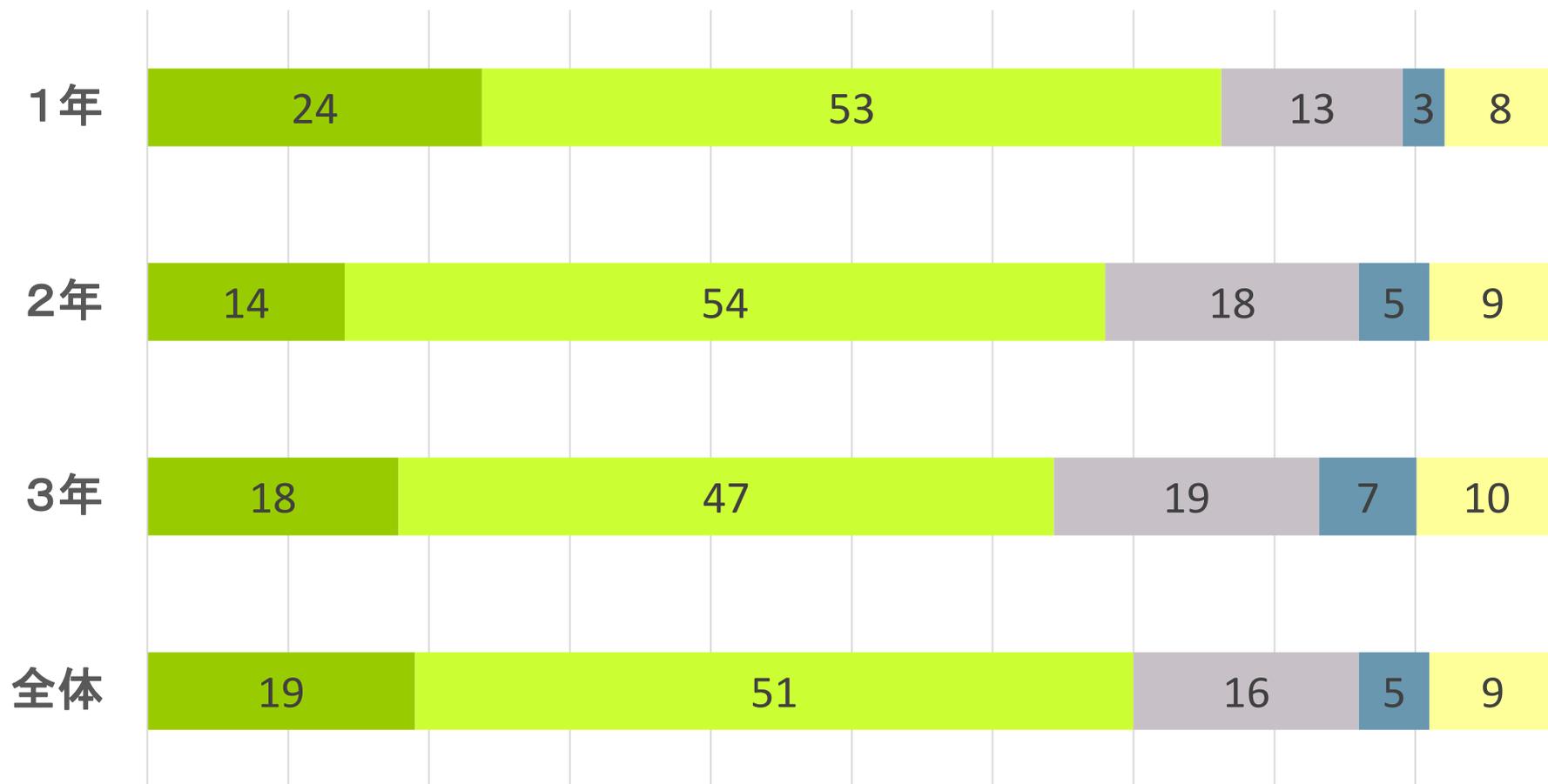
(当てはまる19% + やや当てはまる 51%)

昨年度:C(67%) 一昨年度:D(56%)

## 生徒アンケート(H28. 7月)より

### 「CUや補習は学力向上に役立っている」

■ 肯定的 ■ やや肯定的 ■ やや否定的 ■ 否定的 ■ わからない



## 重点目標1に対する取組

高い進路目標

中学校との情報交換や指導記録も適切に踏まえ、学級担任や学年主任、教科担任等による積極的な面談を行う。

- 「ホーム担任や教科担任との面談によって、自分の学習姿勢により良い変化が生まれた」という生徒が、
- A 80%以上である      B 70%以上である  
C 60%以上である      D 60%未満である

**「よりよい変化が生まれた」 67%**

(当てはまる19% + やや当てはまる48%)

< 昨年同期 62%(+5%) >

## 生徒アンケート(H28. 7月)より

「ホーム担任や教科担任との面談によって  
学習姿勢により良い変化が生まれた」

■ 肯定的 ■ やや肯定的 ■ やや否定的 ■ 否定的 ■ わからない

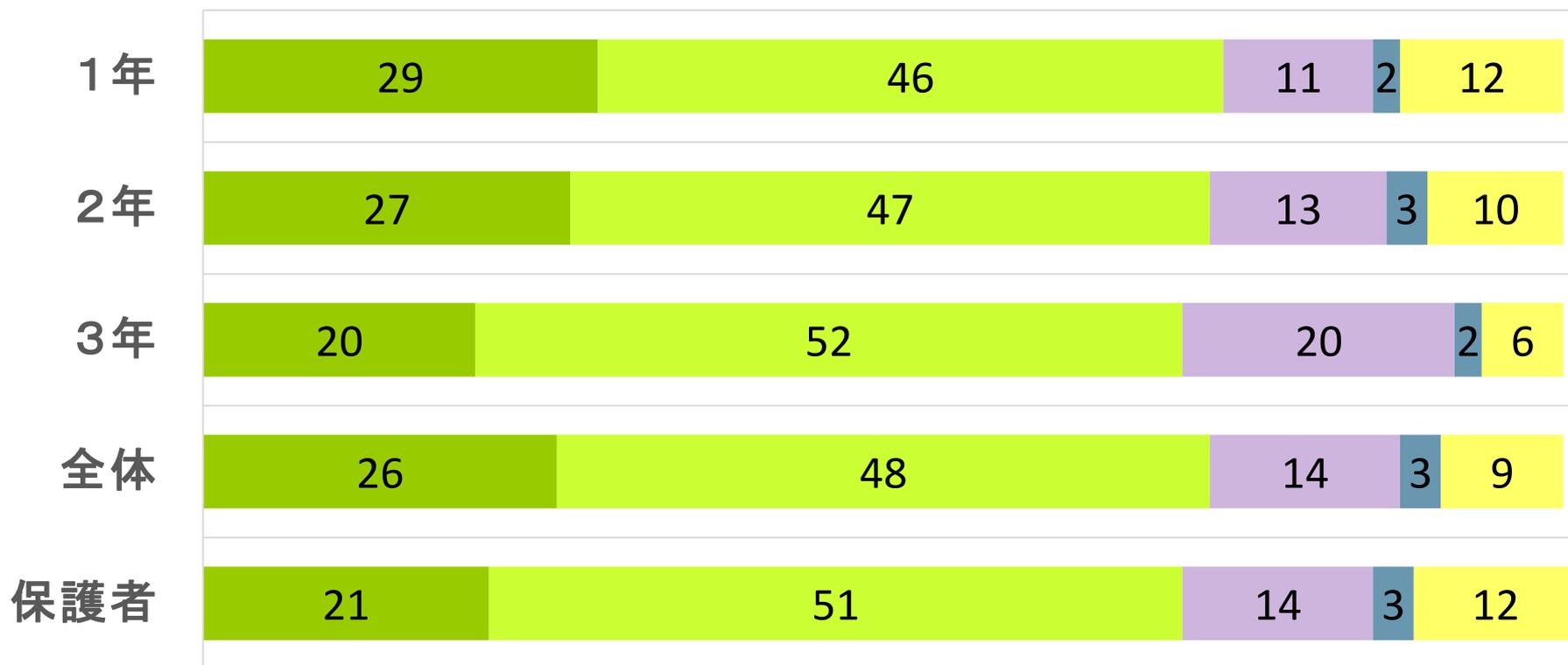


## 生徒・保護者アンケート(H28. 7月)より

(生徒) 「学校では、進路に関してきめ細かい指導がなされている」

(保護者) 「進路に関する学校の指導に満足している」

■ 肯定的   ■ やや肯定的   ■ やや否定的   ■ 否定的   ■ わからない



教科指導力の質的向上

論理的思考力・表現力の伸長

## 重点目標2に対する取組

授業の中でICTを活用することで、学習に対する興味関心を高め、論理的思考力や課題発見力、表現力等を育成する。

○授業の中でICTを「よく活用している」「時々活用している」教員の割合が

A 70%以上である

**B** 60%以上である

C 50%以上である

D 50%未満である

**「ICTを活用している 62%」**

(よく活用 40% 時々活用 22%)

<昨年同期 55%(+7%)>

## 金沢錦丘高校 スクールポリシー(学習指導方針)

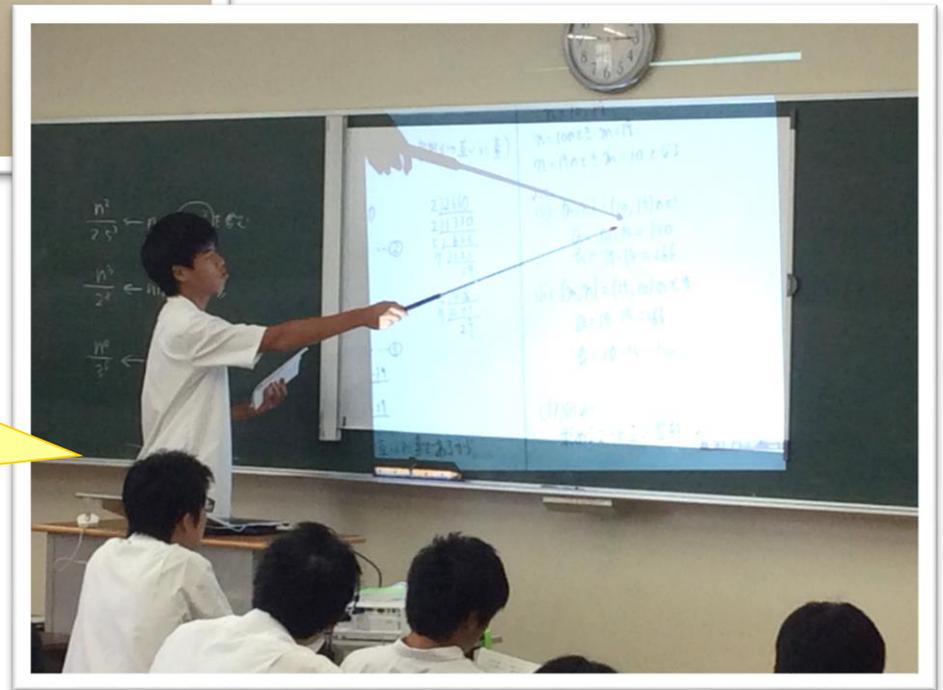
- (1) 中高一貫教育校の特徴を生かし、計画的・継続的な指導を通して、学力・学習意欲の向上を図る。
- (2) 授業と家庭学習の相乗効果により、**基礎・基本**となる学習内容の確実な定着を図る。
- (3) 思考を揺さぶる学習活動を積極的に取り入れ、「**論理的・批判的・創造的な思考力、判断力、表現力**」を育てる。また、知識の深化・総合化を図り、自ら課題に向き合い考え抜く「**探究力**」を育てる。
- (4) 各教科の特質を踏まえた言語活動を通して、他者と積極的に交流し合意形成できる「**コミュニケーション力**」を育てる。



すべての普通教室に、  
プロジェクタとスクリーンを  
配備

→ **ICT活用の環境**が  
整っています

生徒の発表場面でも  
ICTが活躍しています

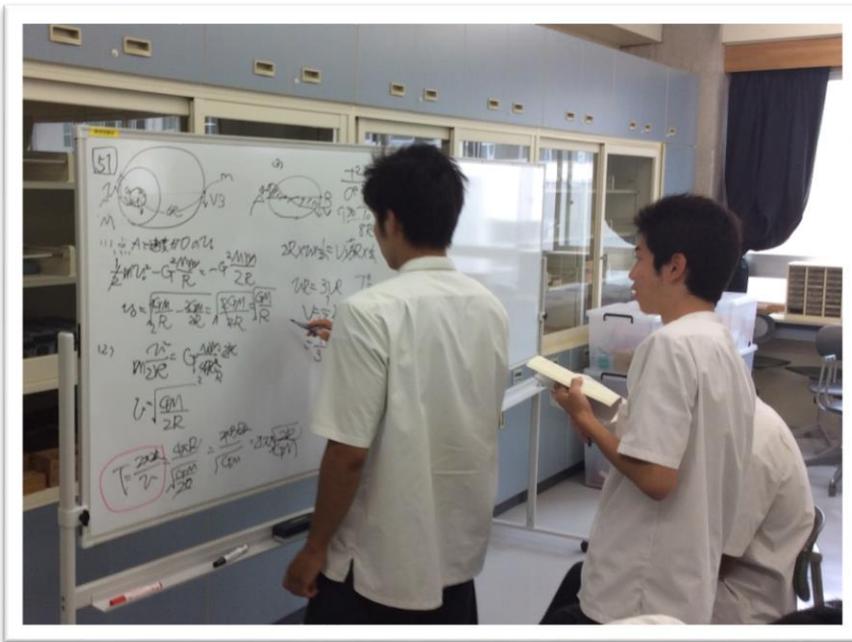




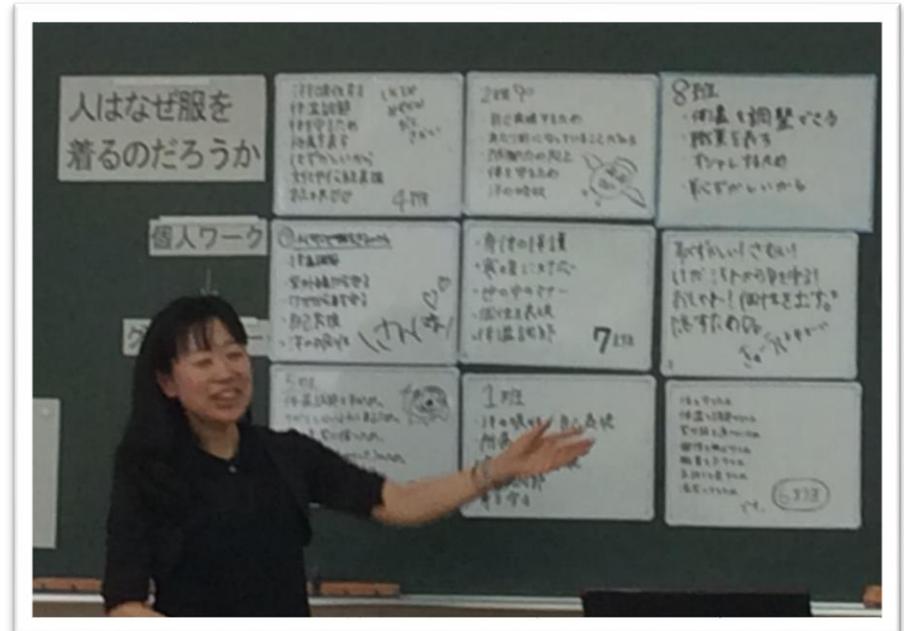
**アクティブラーニング型**の  
授業も多く、ペア活動やグループ  
活動を積極的に取り入れています

**タブレット端末**を使って、生徒  
自身が調べたり発表したり...  
→これからの授業には欠かせない  
ツールになっています

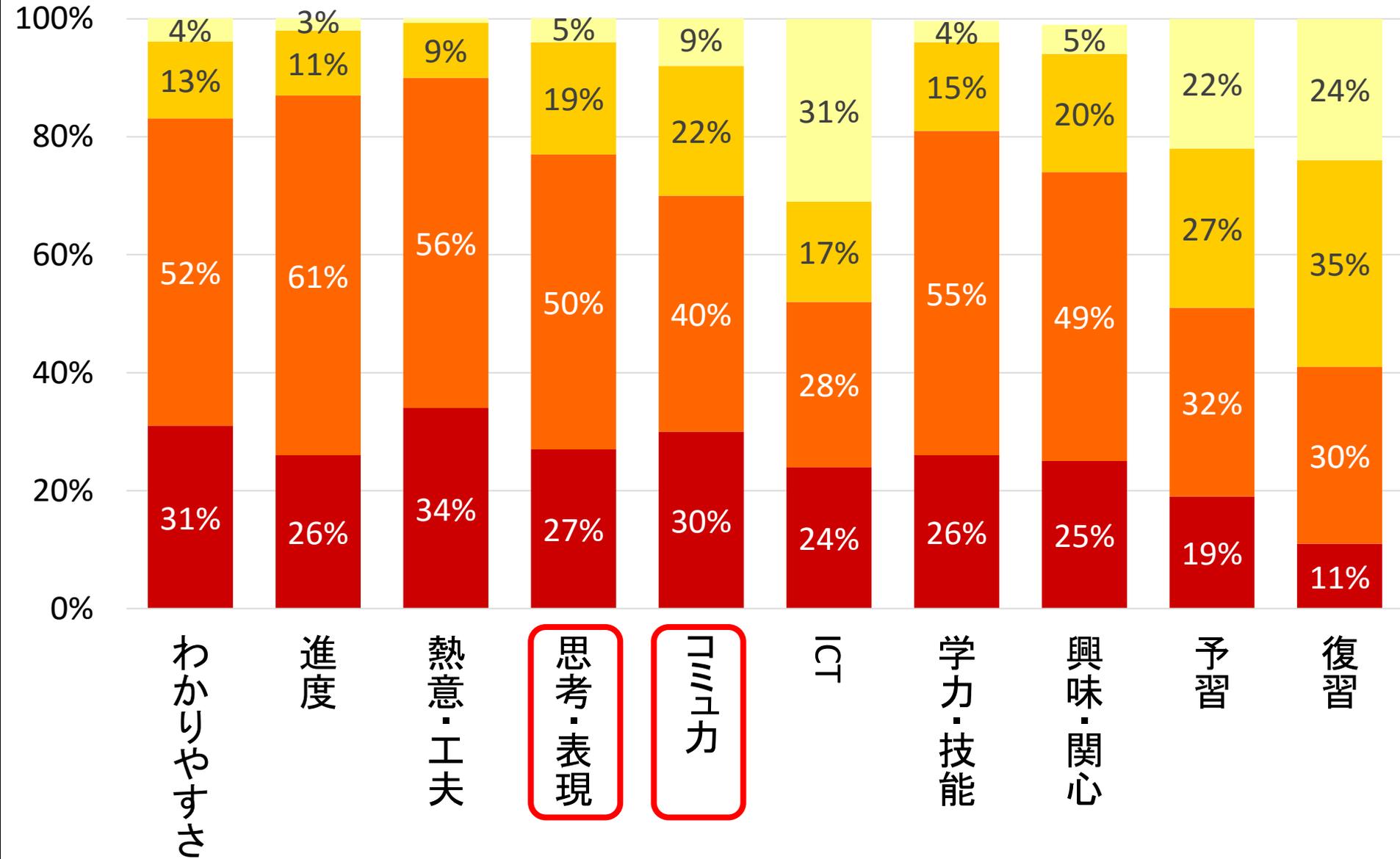




ICTだけでなく、ホワイトボード  
など、**アクティブラーニングを  
助けるツール**を積極的に使っ  
ています



# 生徒による授業評価(H28. 7月)より



教科指導力の質的向上

論理的思考力・表現力の伸長

## 重点目標2に対する取組

総合学習とLC探究などの授業内容を関連させながら、論理的・批判的に事象をとらえ、自らの考えを述べる力を育成する。

- 「さまざまな世界的・社会的事象に対して、より関心を持つようになった」と思う生徒が
- |          |       |   |       |
|----------|-------|---|-------|
| A        | 70%以上 | B | 60%以上 |
| <b>C</b> | 50%以上 | D | 50%以下 |

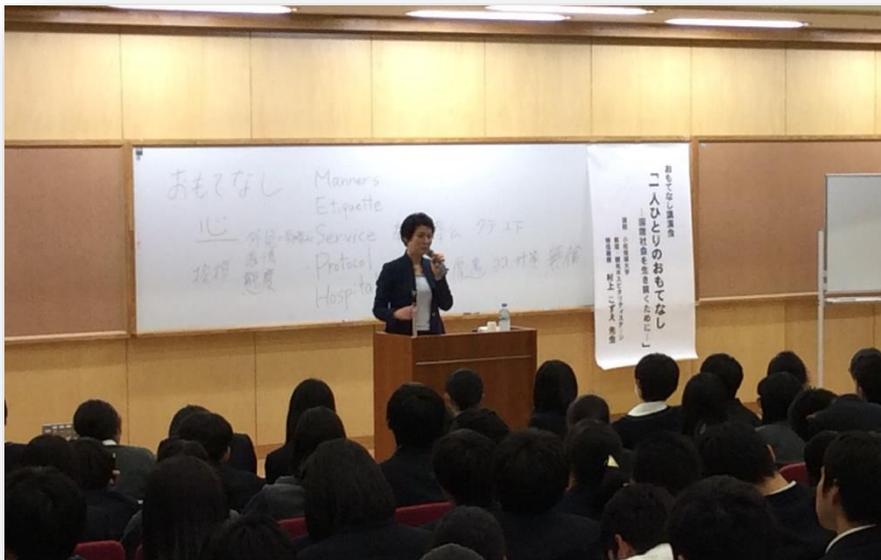
**「より関心を持つようになった」 56%**

(当てはまる 9% + やや当てはまる 47%)

< 昨年同期 50%(+6%) >

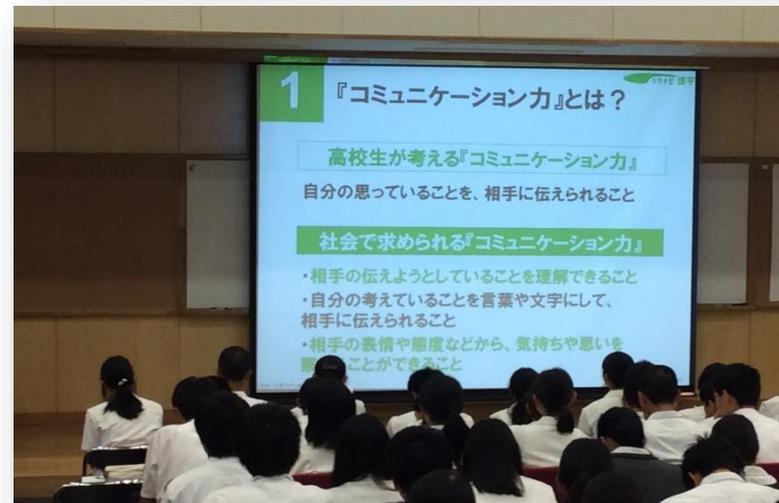
# おもてなし講座(1年)

- ・LC探究(おもてなしについて考える)
- ・総合①・②(外国の高校生をもてなすプラン作り)
- ・おもてなし講演会
- ・総合③(まとめ)



# ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業(2年)

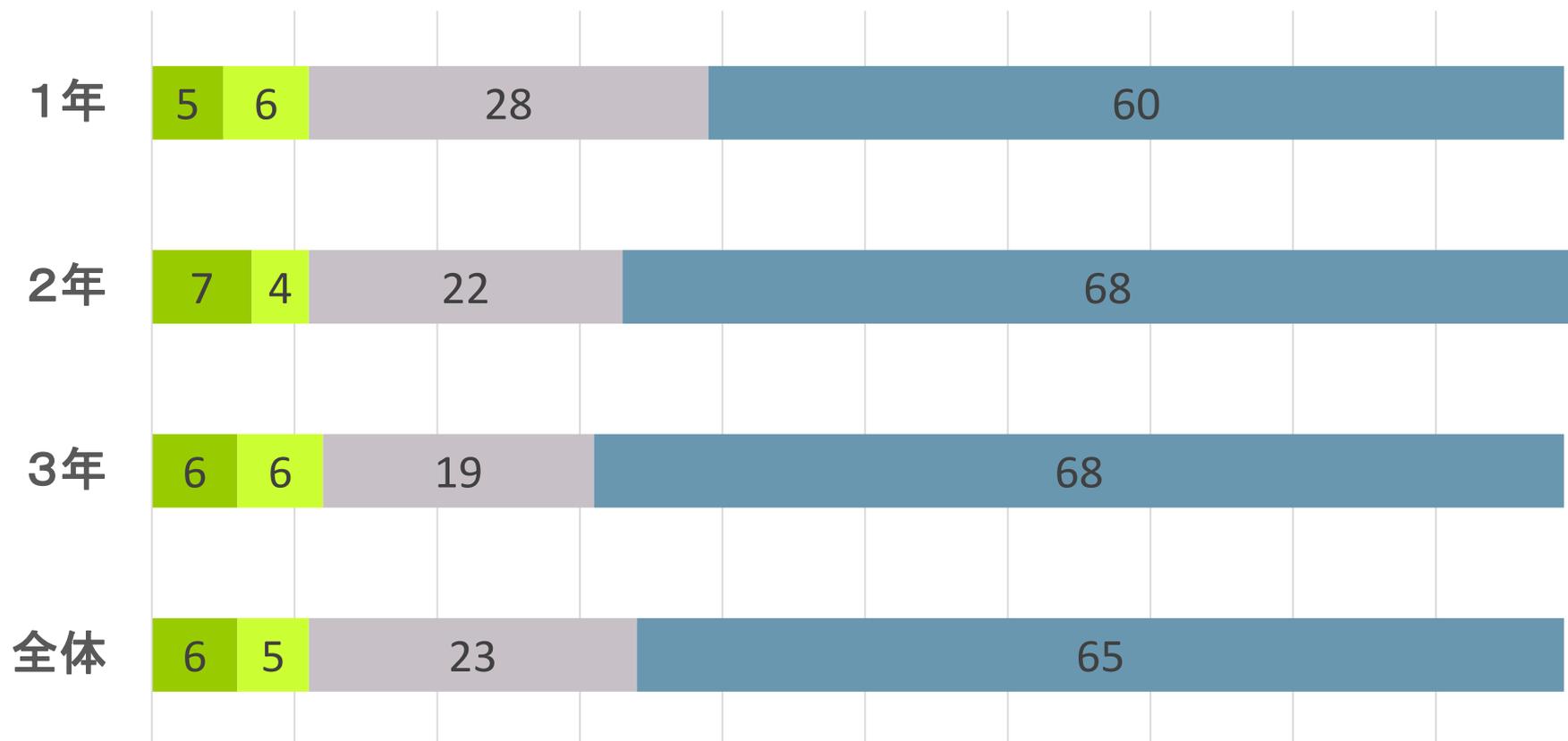
- ・キャリア講演会①(リクルート)
- ・キャリア講演会②(東北大学特任教授)
- ・企業見学(澁谷工業、日機装、EIZO)
- ・まとめ(紫錦祭で発表)



# 読書アンケート(H28. 5月)より

## 新聞を読む回数

■ ほぼ毎日 ■ 週に3~5回 ■ 週に1~2回 ■ 読まない



## 重点目標3に対する取組

自立的内発的な生徒の育成

三点固定(学習開始時間、就寝時刻、起床時間の固定)を図り、進路目標の実現につなげる。

○遅刻をする生徒は一日平均で、

- A 4人未満である
- B 5人未満である
- C 6人未満である
- D 6人以上である

1日の遅刻者数(4~7月平均)

4.1人

<昨年同期 4.2人>

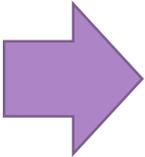
## 重点目標3に対する取組

自立的内発的な生徒の育成

自発的な学習を促し、  
平日 1年120分、2年150分、3年240分、  
休日 1年240分、2年240分、3年総体総文後480分  
の家庭学習時間を確保するよう働きかける。

○家庭学習時間の目標に達した生徒の割合が

- A 80%以上      B 70%以上  
C 60%以上      **D 60%未満**

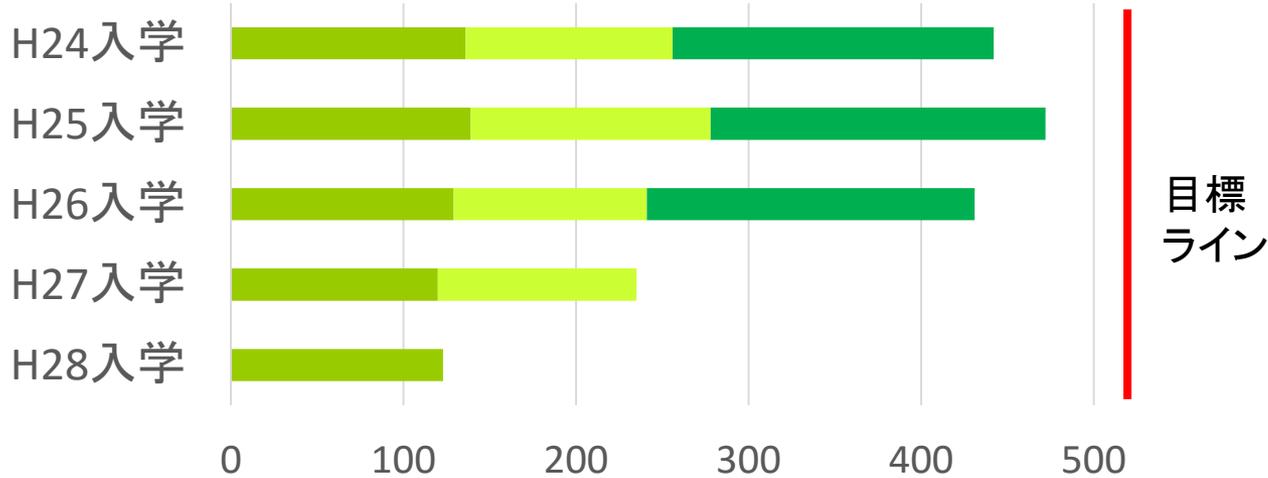


目標達成率	1年	平日	67%	休日	38%
	2年	平日	18%	休日	22%
	3年	平日	35%	休日	17%

# 学習・健康・生活に関するアンケート(H28. 7月)より

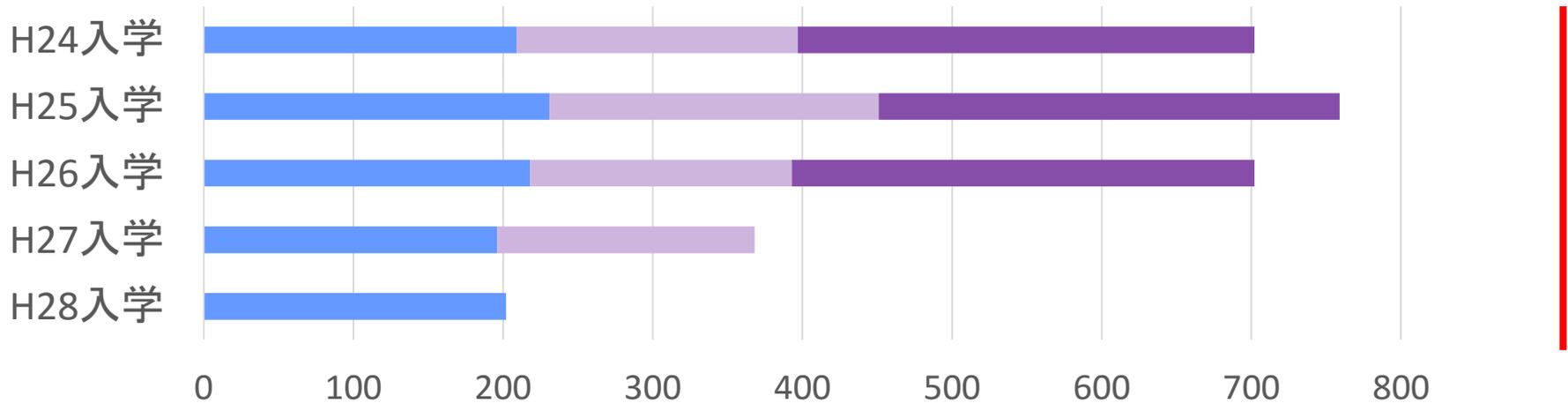
## 平日の学習時間

■ 1年 ■ 2年 ■ 3年



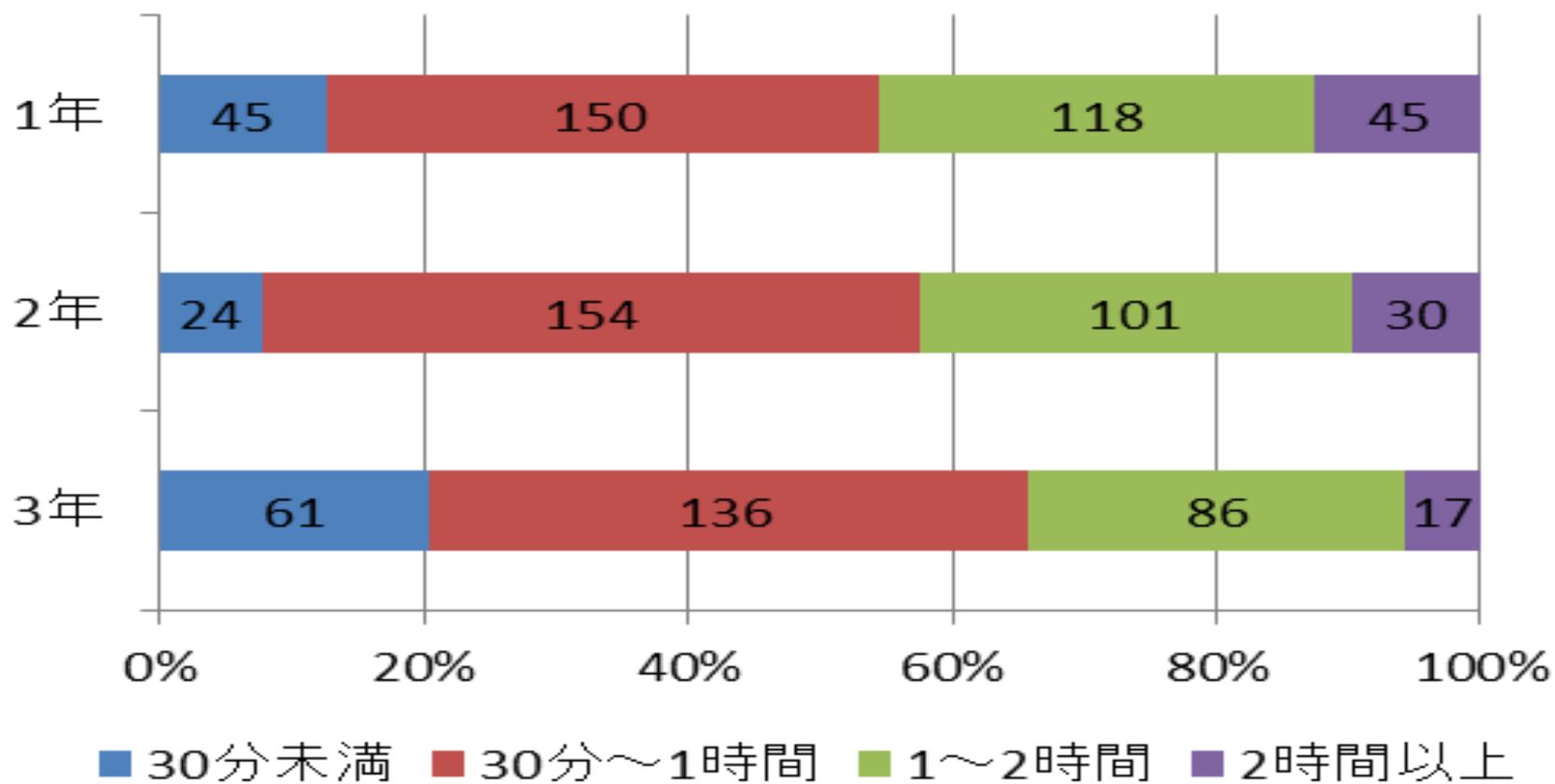
## 休日の学習時間

■ 1年 ■ 2年 ■ 3年



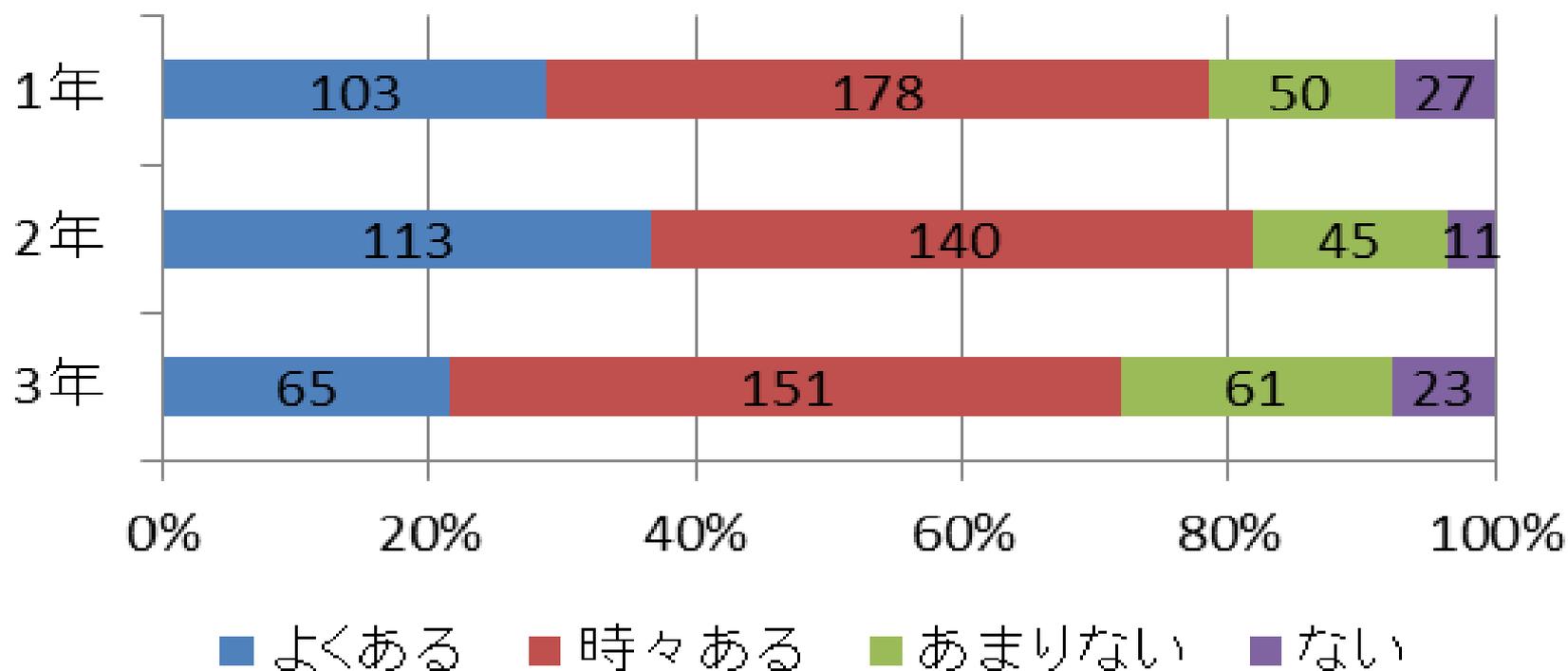
学習・健康・生活に関するアンケート(H28. 7月)より

### 携帯・スマホ平均使用時間(学年別)



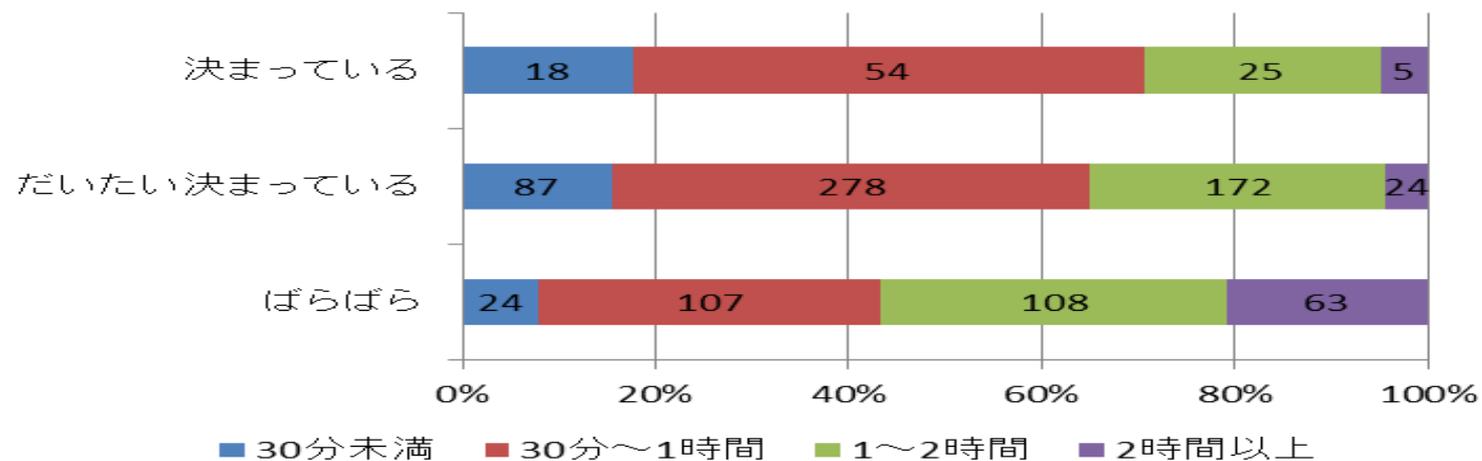
学習・健康・生活に関するアンケート(H28. 7月)より

## 携帯・スマホが勉強の妨げになっていると感じること

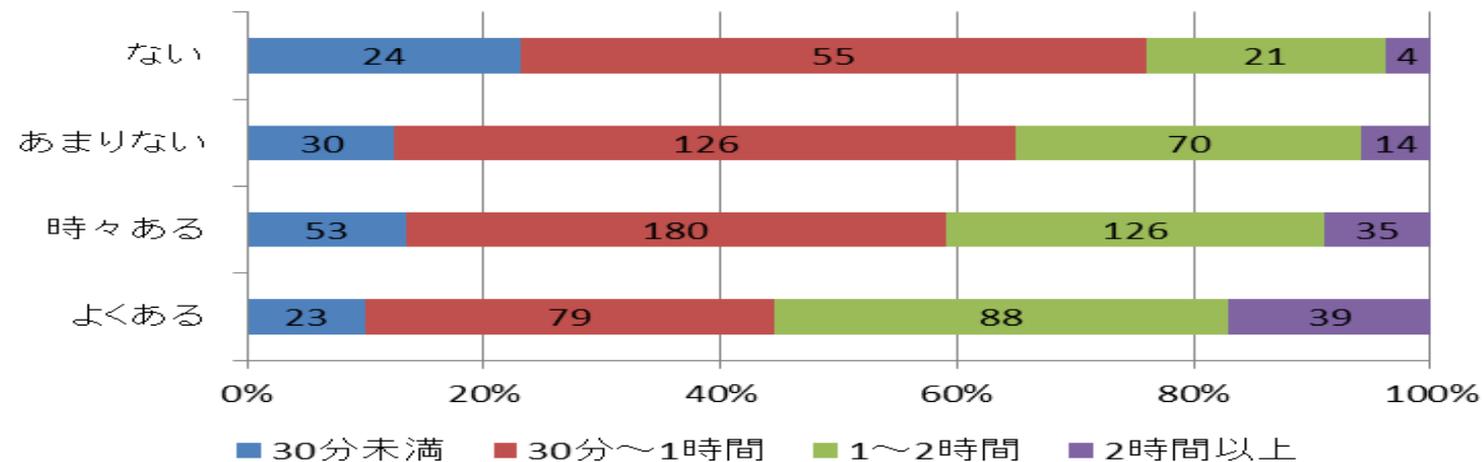


## 学習・健康・生活に関するアンケート(H28. 7月)より

### 「学習リズム」×「スマホ使用時間」



### 「昼間でもだるく横になりたい」×「スマホ使用時間」



## 重点目標3に対する取組

自立的内発的な生徒の育成

生徒一人一人が自発的に挨拶できるような雰囲気  
を醸成し、気持ちよく授業を受けられる環境を整える。

- 「学校生活において挨拶を積極的に行っている」  
生徒の割合

**肯定的評価 74%**

(校外からの来校者にも積極的に挨拶する 29%  
+ 友人や教職員には自分から挨拶している 45%)

保護者や外部の方の声とのギャップ

→ 「挨拶しているつもり」でも「伝わる挨拶」にはなっていない？

## 重点目標3に対する取組

自立的内発的な生徒の育成

部活動において限られた時間を有効に活用させることによって、自主性・自立性を育む。

### 部活動加入率 89.5%

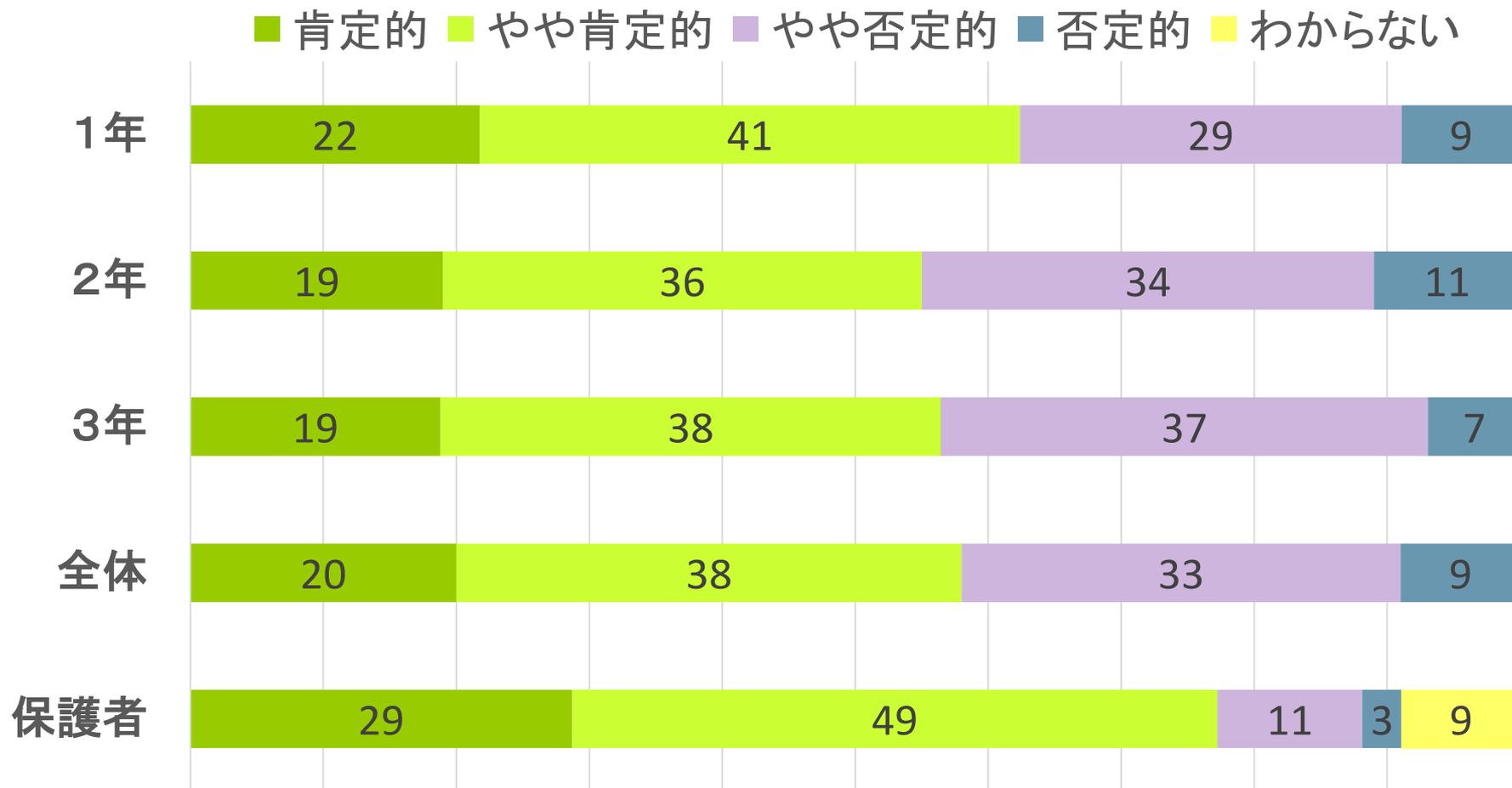
4月現在		1年	2年	3年
男子	運動部	80%	75%	70%
	文化部	17%	20%	5%
女子	運動部	53%	45%	39%
	文化部	49%	49%	30%
全体		98%	94%	72%

10月調査でも、  
1・2年全体で  
95%の高率を  
維持

## 生徒・保護者アンケート(H28. 7月)より

(生徒)「部活動と学習の両立はできている」

(保護者)「部活動は学習と両立できるよう適切に行われている」



# 運動部の主な成績(H28県高校総体)

- 陸上(男子1500m第1位 他 12種目入賞)  
(女子 400m第1位 他 6種目入賞)  
(男子総合第4位、女子総合第8位)
- ハンドボール(女子第3位)
- フェンシング(女子エペ第1位)
- 弓道(女子団体4位)  
(女子個人4位)
- ソフトテニス(男子個人ベスト16)



# 運動部の主な成績(H28県高校総体)

## ➤少林寺拳法

- (男子団体演武第2位)
- (男子組演武第3位・第4位)
- (男子単独演武第6位)
- (女子団体演武第2位)
- (女子組演武第4位)

## ➤水泳

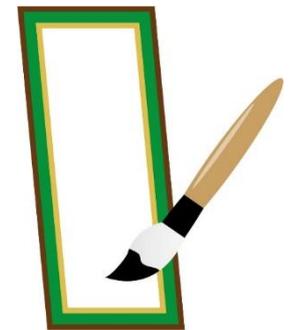
- (男子100m平泳ぎ第1位  
他 13種目入賞 総合第3位)
- (女子100m自由形第1位  
他 9種目入賞 総合第2位)

インターハイ男女各1名出場



# 文化部の主な成績(H28)

- 放送 (県高校総文朗読部門入選1名)  
( // アナウンス部門入選2名)
- 文芸 (全国総文出場)  
(俳句甲子園県予選 最優秀作品賞)
- 写真 (県高校総文最優秀賞、優良賞)
- 書道 (県高校総文優良賞)
- 吹奏楽 (県吹奏楽コンクール銀賞)
- 家庭 (北陸地区家庭クラブ研究発表大会出場)

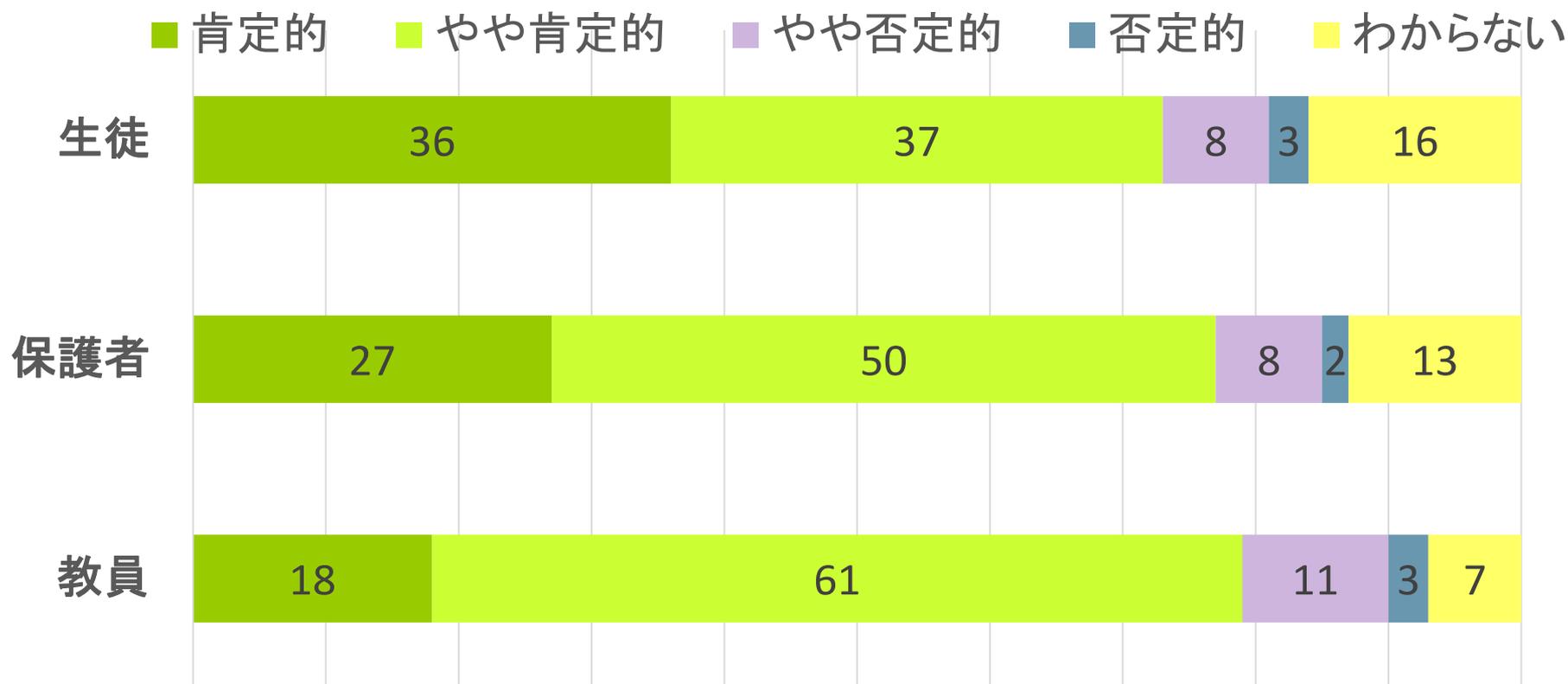


## 生徒・保護者・教員アンケート(H28. 7月)より

(生徒) 「部活動では生徒の主体性を重んじる指導が行われている」

(保護者) 「学校では、生徒が主体的に部活動に取り組むよう工夫がなされている」

(教員) 「私は、生徒が主体的に部活動に取り組むよう工夫している」



## 学校評議員会でのご意見より

### ◆ 授業改善について

- ・現代社会ではコミュニケーションが大切。チームで取り組ませたり、発表させたりなど、今後も工夫してほしい。
- ・教師が使うICTだけでなく、生徒側の道具としてのICTにも取り組んでほしい。

### ◆ スマートフォンの指導について

- ・活字離れが進んでいる一つの原因はスマホ。
- ・スマホは自分の興味につながるのみで、本と違って広がりが無い。断片をコラージュして何かを作り上げる能力は育つが。
- ・高校入学時に保護者と連携してルールづくりをすべき。

### ◆ 中高一貫教育について

- ・6年間の中での中学生・高校生の交流を促進してほしい。
- ・高校から入学する生徒にも中高一貫の良さが感じられる学校であってほしい。